

今更聞けない、
WinActorって何！？

株式会社NTTデータ

1. はじめに
2. 自動記録機能(IEモード)
3. 自動記録機能(エミュレーションモード)
4. 画像識別機能(画像マッチング)
5. WinActor実践ガイドのご紹介

1.はじめに

「RPA」とは

RPAとは

「Robotic Process Automation」の略語で、主にホワイトカラーの業務を人間に代わりロボットが処理することで作業を自動化する取り組みのことを指します。

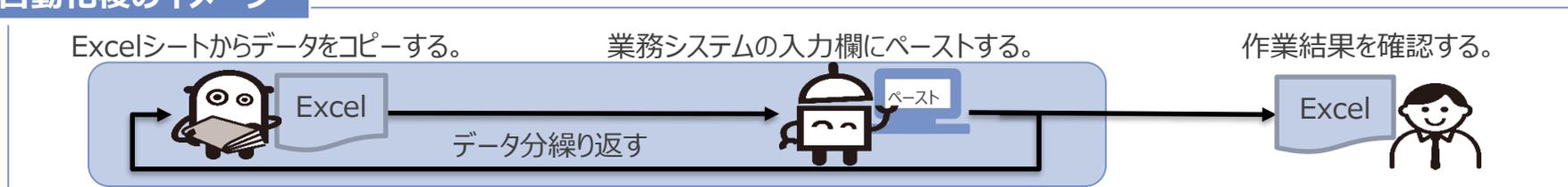
RPAを導入している多くの企業は作業時間の短縮とコストの削減に成功しています。

RPAが得意とする業務例	活用事例
情報が電子化・整理されているもの	Excelファイルのデータをコピーし、業務システムの入力欄にペーストする。
定常的に発生するもの (大量の反復操作が伴うもの)	毎日、一定のタイミングでシステム画面のボタンをクリックして処理を実行する。
処理方針や判断ルールが明確なもの	メールの内容を確認し、決められた条件により、それぞれのシステムに登録する。

自動化前のイメージ



自動化後のイメージ

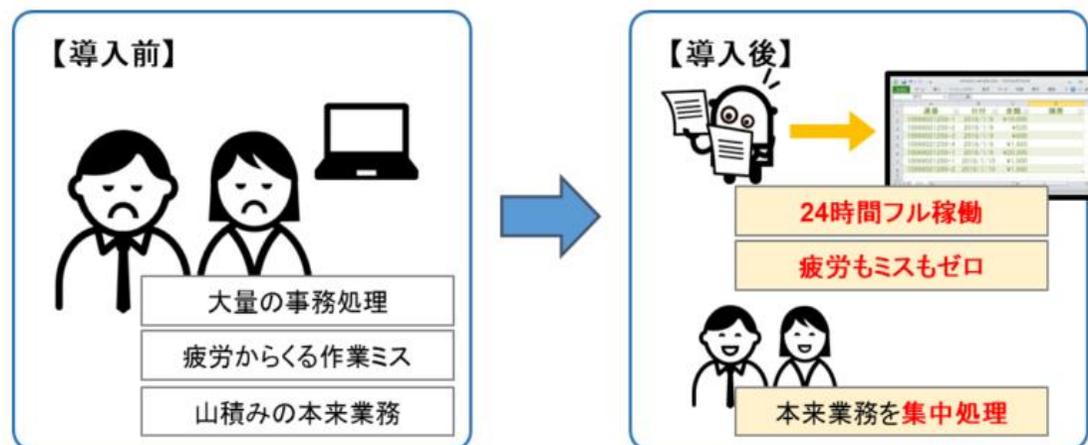


「WinActor」とは

WinActorとは

2010年にNTTグループで研究開発された、Windows端末向けの純国産RPAソリューションです。WinActorは、人が行っている作業の手順をフローチャート図で表現することで自動化します。このフローチャート形式で手順化したものを「シナリオ」と呼びます。プログラミング知識のないユーザでも直感的に操作を行うことができます。WinActorは、人間の作業をただ代替するのではなく、「人間と寄り添い、互いに成長する関係を構築するRPA」を目指しています。

WinActor導入前後のイメージ

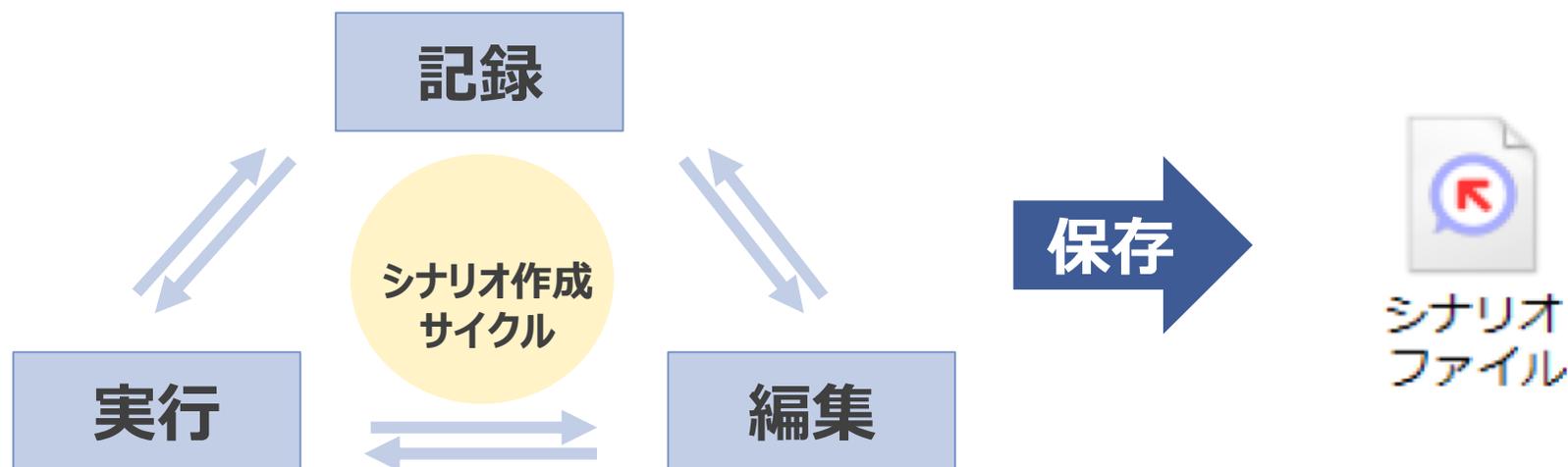


主な3つの機能

WinActorに備わる3つの機能

WinActorには「記録」「編集」「実行」の3つの機能があります。
これらを繰り返しながら、シナリオを作成していきます。
また作成したシナリオは、ファイルとして保存することが可能です。

- ・記録 = ユーザが行った操作をシナリオとして記録します。
- ・編集 = シナリオの順序や繰り返し回数、実行条件などの設定や、処理の追加・削除を行います。
- ・実行 = シナリオに沿って自動操作を行います。



シナリオ実行インターフェース

WinActorでは、以下4つのインターフェースを利用し、シナリオを作成します。



インターフェース	特徴
UI識別型	自動記録を行います。記録対象のアプリケーションごとに4つのモードが用意されています。
画像識別型	指定した画像を操作対象画面から探し出し、同じ画像が見つかったらクリック等の操作を行います。
座標指定型	自動記録を行います。「エミュレーションモード」を使用し、マウス操作の位置、キーボードを押した順序を記録します。幅広いアプリケーションに対応しています。
ファイル向け	Excel・csvファイルの値を取得したり、Excel・csvファイルへ転記する作業で使用します。

※自動記録とは、ユーザーが行ったマウス・キーボード操作を記録する機能のことです。

初期起動画面

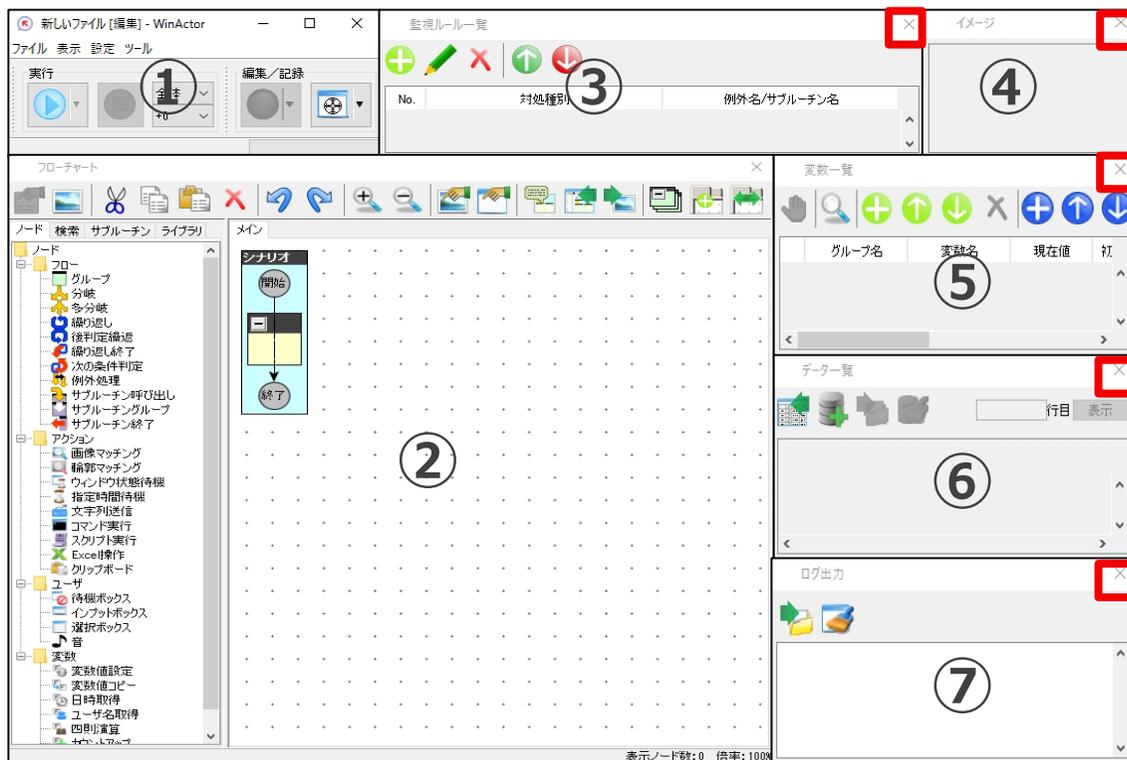
WinActorの初期起動時には、以下の7つの画面が表示されます。

今回は「メイン」画面「フローチャート」画面のみ使用します。

その他の画面は、「閉じる」ボタンで閉じてください。

「メイン」画面を閉じるとWinActor自体が終了してしまうので注意してください。

番号	名称
①	メイン画面
②	フローチャート画面
③	監視ルール一覧画面
④	イメージ画面
⑤	変数一覧画面
⑥	データ一覧画面
⑦	ログ出力画面



メイン画面

シナリオファイルの保存・読み込み操作、シナリオの実行・記録を指示する画面です。



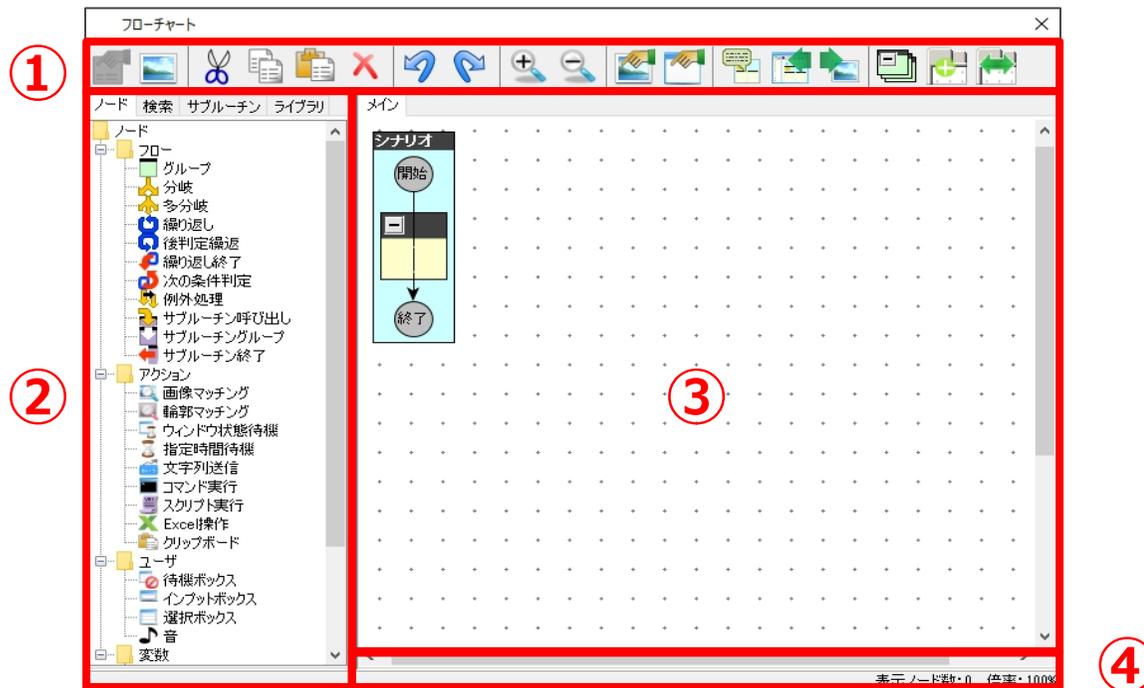
※メイン画面を閉じると WinActorが終了します。

番号	名称	機能
①	実行ボタン	シナリオを実行します。
②	停止ボタン	実行中のシナリオを停止します。また、シナリオのエラー発生時には「一時停止」状態となり、シナリオの編集や実行が行えなくなるため、その場合もこのボタンで停止します。
③	実行モード	シナリオの実行モードを選択します。 「全体」：シナリオ全体の実行をします。「部分」：選択した部分のみ実行します。
④	速度調整	シナリオの実行速度を調整します。「+0」は待機時間なしで実行します。各ノードが実行される前に待機が実施されます。数値が増加することにより0.1秒ずつ待機時間が増加します。
⑤	記録/記録停止ボタン	シナリオの記録を開始・終了します。 記録対象のアプリケーションを選択すると有効になり、自動的に記録モードが選択されますが右側の▼（記録モード選択メニュー）で他の記録モードに変更することもできます。 ※選択記録対象アプリケーションの種類によって選択できない記録モードがあります。
⑥	記録対象アプリケーション選択ボタン	記録対象となるアプリケーションを選択します。

フローチャート画面

フローチャート画面

シナリオを作成・編集する際に使用する画面です。



番号	名称	説明
①	ツールバー	フローチャートの編集に関するアイコンが配置されています。
②	パレットエリア	「ノード」、「検索」、「サブルーチン」、「ライブラリ」のタブを切り替えて表示します。 シナリオ作成に使用する機能（部品）は「ノード」「ライブラリ」タブに格納されています。
③	フローチャート表示エリア	シナリオをフローチャート図で表示する領域となり、シナリオを編集することができるエリアです。
④	ステータスバー	フローチャートを構成するノードの名称やコメント、表示ノード数、表示倍率を表示します。

初期設定

「変数を自動生成する」について

WinActorでは、取得した値や作業結果などを【変数】に格納します。

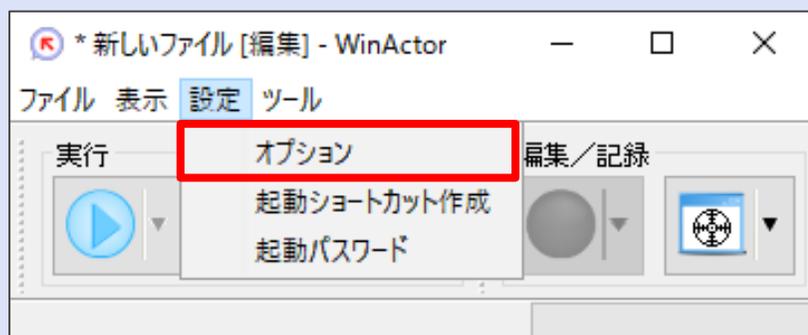
初期値（製品出荷時）には、「変数を自動生成する」という設定がされており、操作の自動記録時に変数名を自動的に決定し、ノードを作成します。

（※任意でない名前の【変数】が作成されます。）

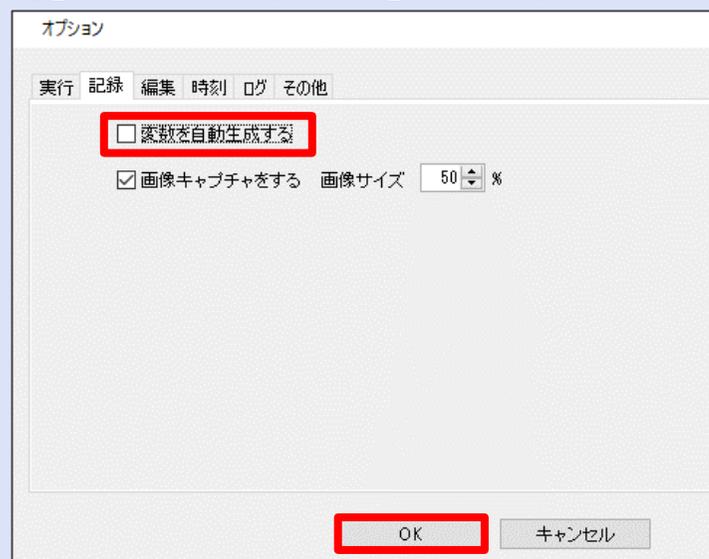
本設定を解除することで、意図しないタイミングで変数が作成されなくなるため、変数の管理が容易になります。また、分かりやすい変数名をつけることでシナリオの修正効率向上にもつながります。

設定解除方法

①「メイン」画面のメニュー「設定」>「オプション」を選択します。

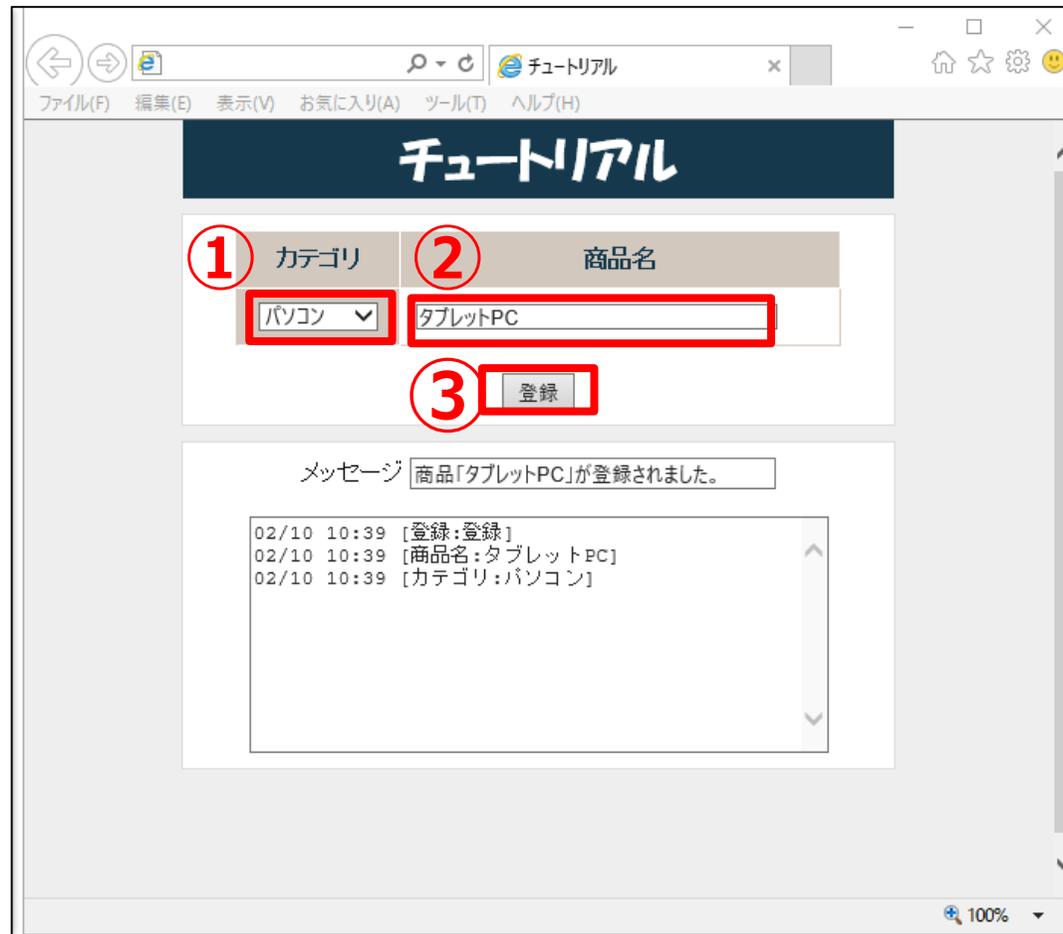


②「オプション」画面の「記録」タブに切り替え、「変数を自動生成する」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



WinActorで自動化する業務について

チュートリアル画面にカテゴリと商品名を登録する業務



2. 自動記録機能(IEモード)

- 4つのインターフェースのうち「UI識別型」に分類されます。
- ユーザーが行った操作を自動記録します。
- Internet Explorerを記録対象とするモードで画面上のボタンや入力欄に通し番号を付けて管理しています。操作したボタンや入力欄の番号を記録して自動操作を行います。

2.自動記録機能(IEモード)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、IEモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。

カテゴリのプルダウンリストから「パソコン」を選択し、商品名に「タブレット」と入力後、登録ボタンをクリックするという操作を、自動記録でシナリオ化します。

デスクトップに、

- ・メイン画面
- ・フローチャート画面
- ・チュートリアル.html

を準備します。



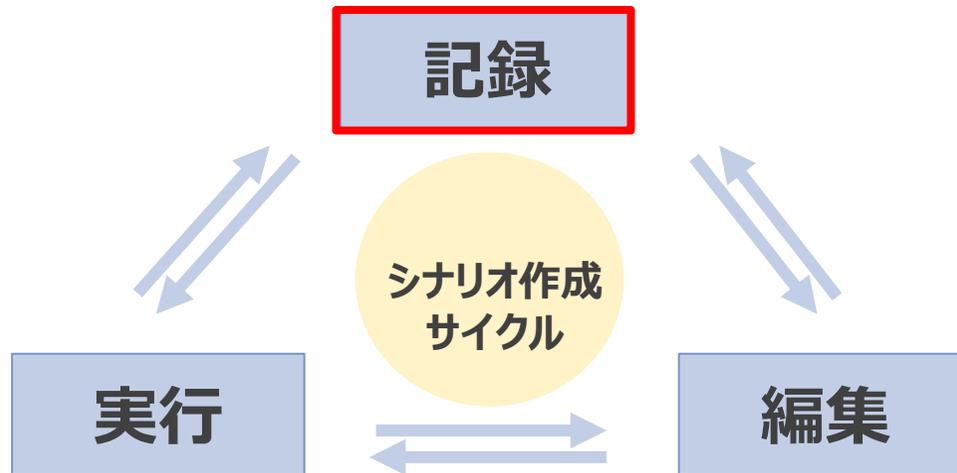
右図のような警告が表示された場合は、「**ブロックされているコンテンツを許可(A)**」をクリックします。

この Web ページはスクリプトや ActiveX コントロールを実行しないように制限されています。

ブロックされているコンテンツを許可(A)

シナリオの記録方法

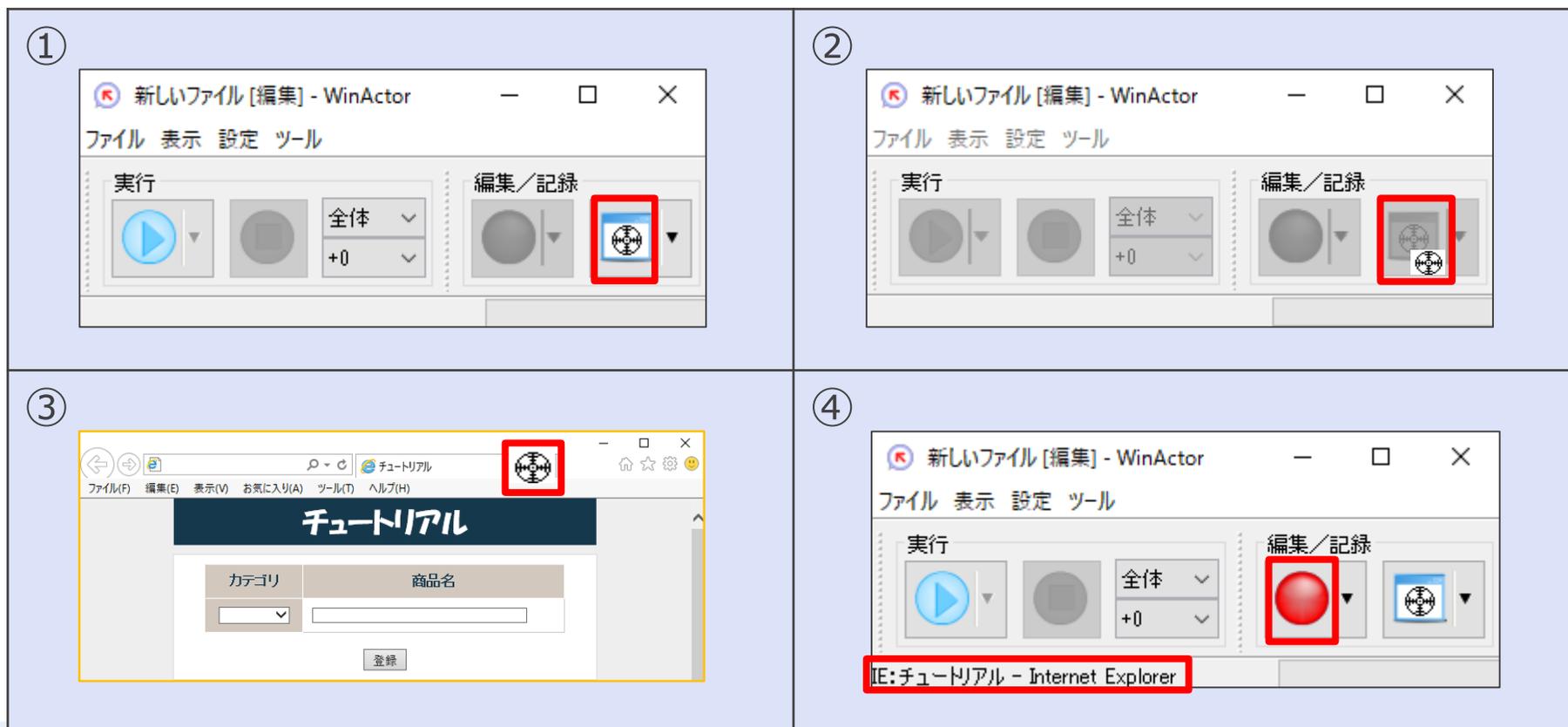
WinActorに備わる3つの機能



2.自動記録機能(IEモード)

●初めに以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ①「メイン」画面の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③「チュートリアル」の画面をクリックします。
- ④「記録」ボタンが赤色に変わり、記録開始の準備が完了します。



The figure consists of four numbered screenshots illustrating the steps to start recording in WinActor:

- ①** Screenshot of the WinActor main interface. The '編集/記録' (Edit/Record) section has a button with a crosshair icon highlighted by a red box.
- ②** Screenshot of the WinActor main interface. The mouse cursor is now a crosshair, and the '編集/記録' button is highlighted by a red box.
- ③** Screenshot of an Internet Explorer browser window displaying a 'チュートリアル' (Tutorial) page. The crosshair cursor is positioned over the page title, highlighted by a red box.
- ④** Screenshot of the WinActor main interface. The '編集/記録' button is now a solid red circle, highlighted by a red box. Below the interface, a taskbar entry for 'IE:チュートリアル - Internet Explorer' is also highlighted by a red box.

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でプルダウンリストの操作を記録します。

⑤「メイン」画面の「記録」ボタンをクリックします。

⑥「メイン」画面左下のステータスバーに「記録を開始しました。」と表示されていることを確認します。

⑦「チュートリアル」画面の「カテゴリ」から「パソコン」を選択します。

⑧操作が「フローチャート」画面に記録されます。

The figure consists of four numbered screenshots illustrating the process of recording an action in WinActor:

- ⑤** Screenshot of the WinActor main interface. The '編集/記録' (Edit/Record) button, represented by a red circle, is highlighted with a red box.
- ⑥** Screenshot of the WinActor main interface. The status bar at the bottom left displays the message '記録を開始しました。' (Recording started.), which is highlighted with a red box.
- ⑦** Screenshot of the 'チュートリアル' (Tutorial) web page. In the 'カテゴリ' (Category) dropdown menu, the 'パソコン' (PC) option is highlighted with a red box.
- ⑧** Screenshot of the 'フローチャート' (Flowchart) screen. The recorded action 'リスト選択 (IE)' (List selection (IE)) is highlighted with a red box within the 'グループ' (Group) box.

2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でテキスト欄への文字入力操作を記録します。
 - ⑨「チュートリアル」画面の「商品名」に文字列「タブレット」を入力します。
入力完了後、カーソルを移動させるために「Tab」キーを押してください。
 - ⑩操作が「フローチャート画面」に記録されます。

The image consists of two side-by-side screenshots illustrating the process of recording an input operation.

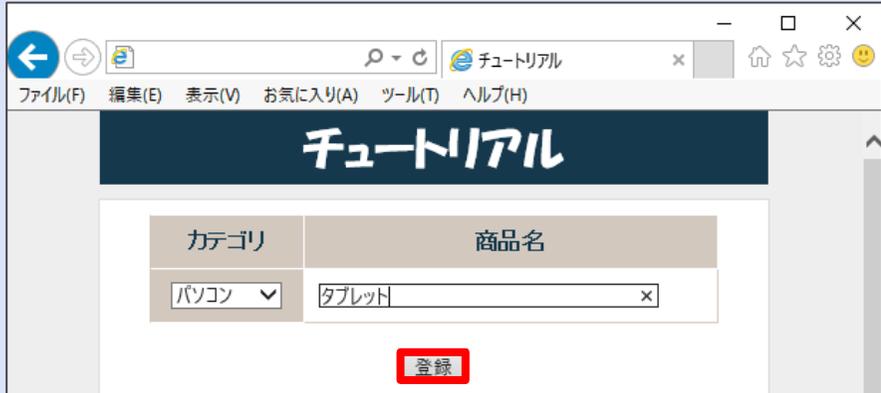
Left Screenshot (Step 9): Shows a web browser window titled "チュートリアル" (Tutorial). The address bar shows "チュートリアル". The main content area has a table with two columns: "カテゴリ" (Category) and "商品名" (Product Name). The "カテゴリ" dropdown is set to "パソコン" (PC). The "商品名" input field contains the text "タブレット" (Tablet), which is highlighted with a red rectangle. A "登録" (Register) button is located below the input field.

Right Screenshot (Step 10): Shows a "フローチャート" (Flowchart) editor window. The left pane shows a tree view of nodes, including "グループ" (Group), "分岐" (Branch), "多分岐" (Multi-branch), "繰り返し" (Loop), "後判定繰返" (Post-condition loop), "繰り返し終了" (Loop end), "次の条件判定" (Next condition judgment), "例外処理" (Exception handling), "サブルーチン呼び出し" (Subroutine call), "サブルーチングループ" (Subroutine group), and "サブルーチン終了" (Subroutine end). The right pane shows the main flowchart area with a "シナリオ" (Scenario) and a "グループ" (Group). The "グループ" area contains a flowchart with a "開始" (Start) node, a "リスト選択 (IE)" (List selection (IE)) node, and a "文字列設定 (IE)" (String setting (IE)) node. The "文字列設定 (IE)" node is highlighted with a red rectangle.

2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でボタンクリックの操作を記録します。
 - ①「チュートリアル」画面の「登録」ボタンをクリックします。
 - ②操作が「フローチャート画面」に記録されます。

①



②



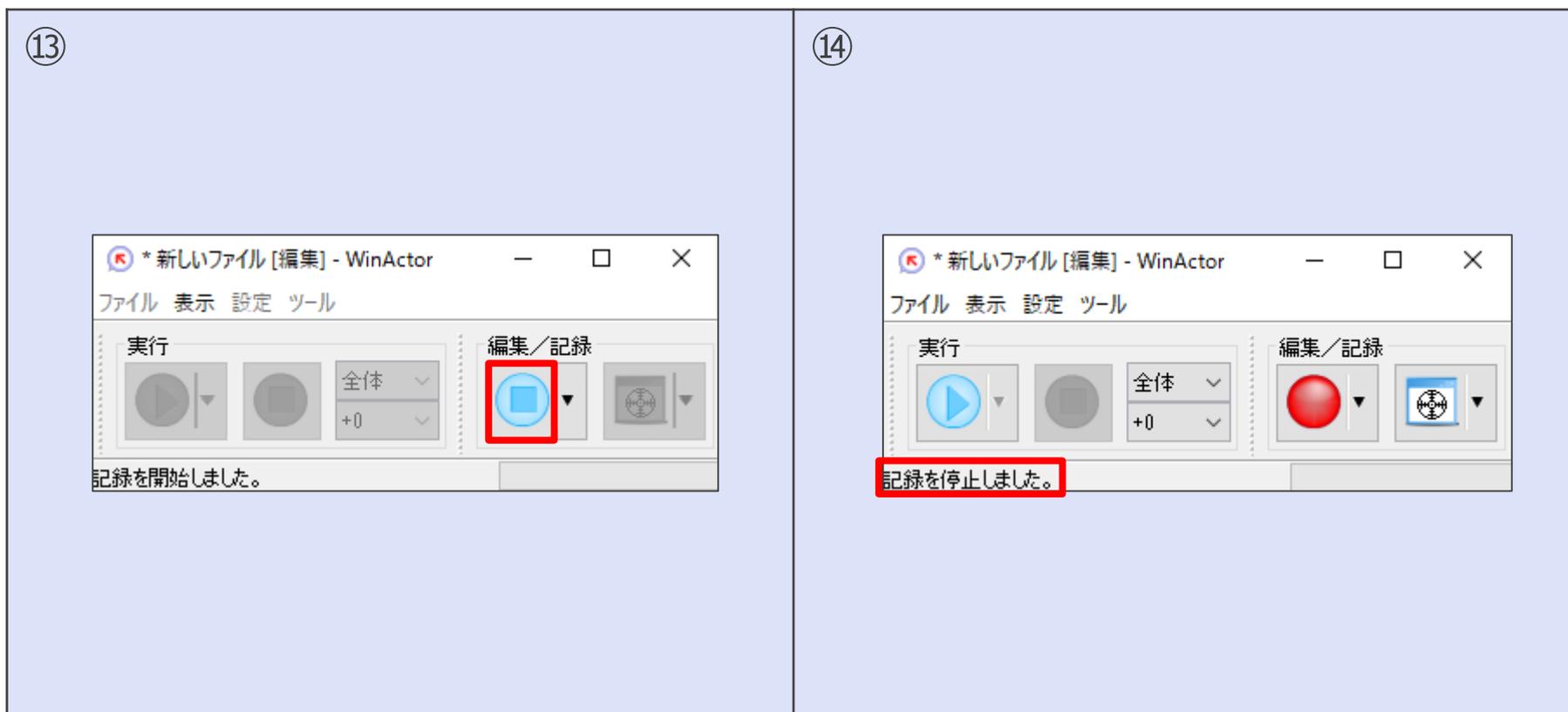
© 2020 NTT DATA Corporation

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で記録を停止します。

⑬「メイン」画面の「記録停止」ボタンをクリックします。

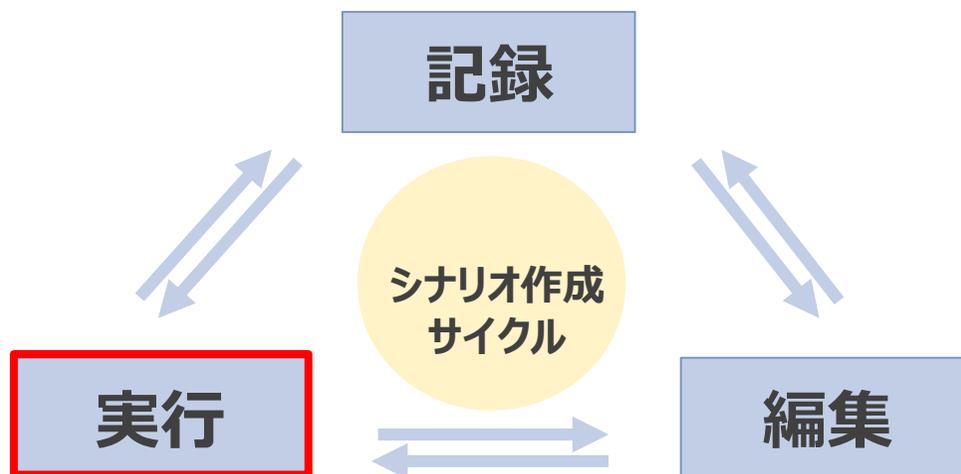
⑭「メイン」画面左下のステータスバーに「記録を停止しました。」と表示されていることを確認します。



2.自動記録機能(IEモード)

記録したシナリオの実行方法

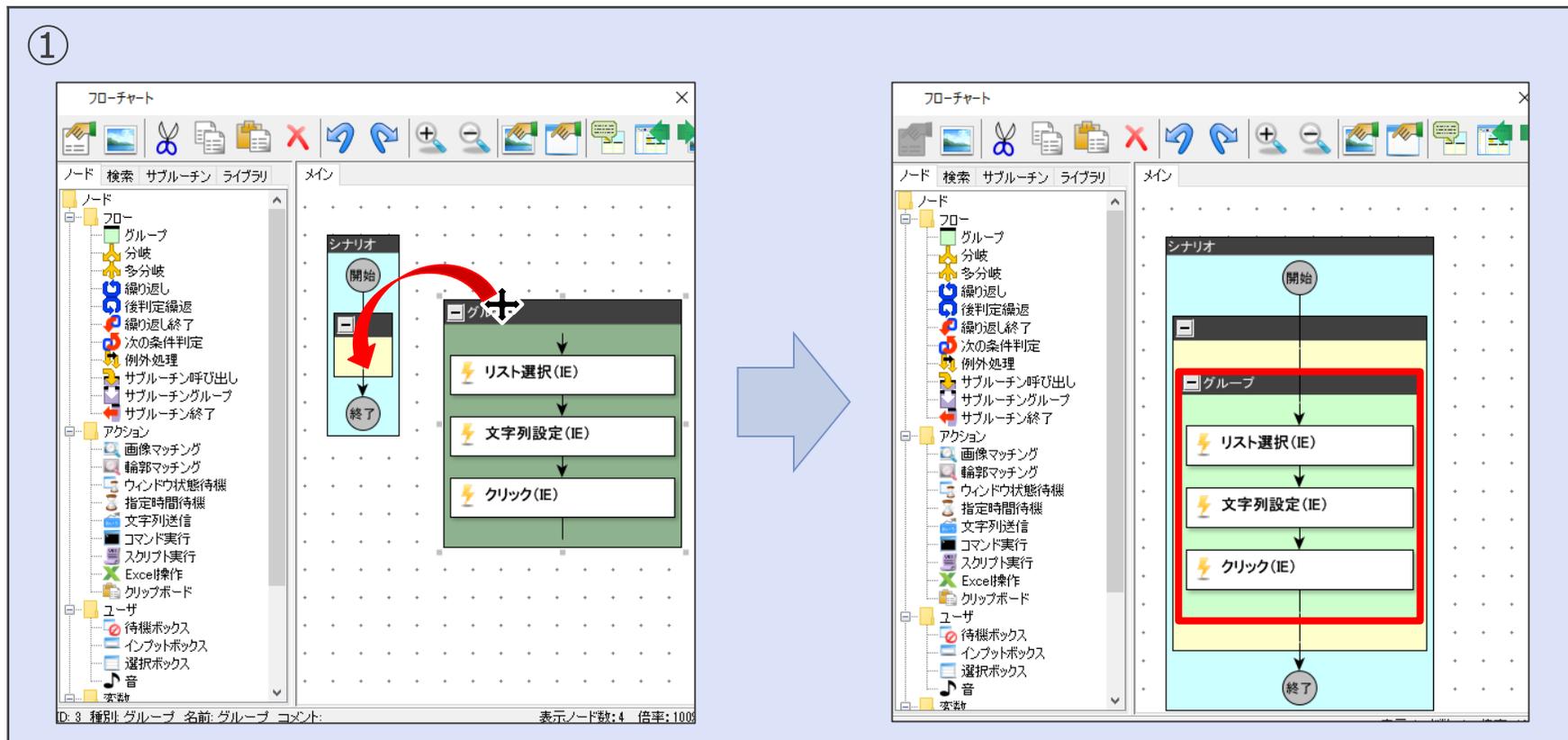
WinActorに備わる3つの機能



2.自動記録機能(IEモード)

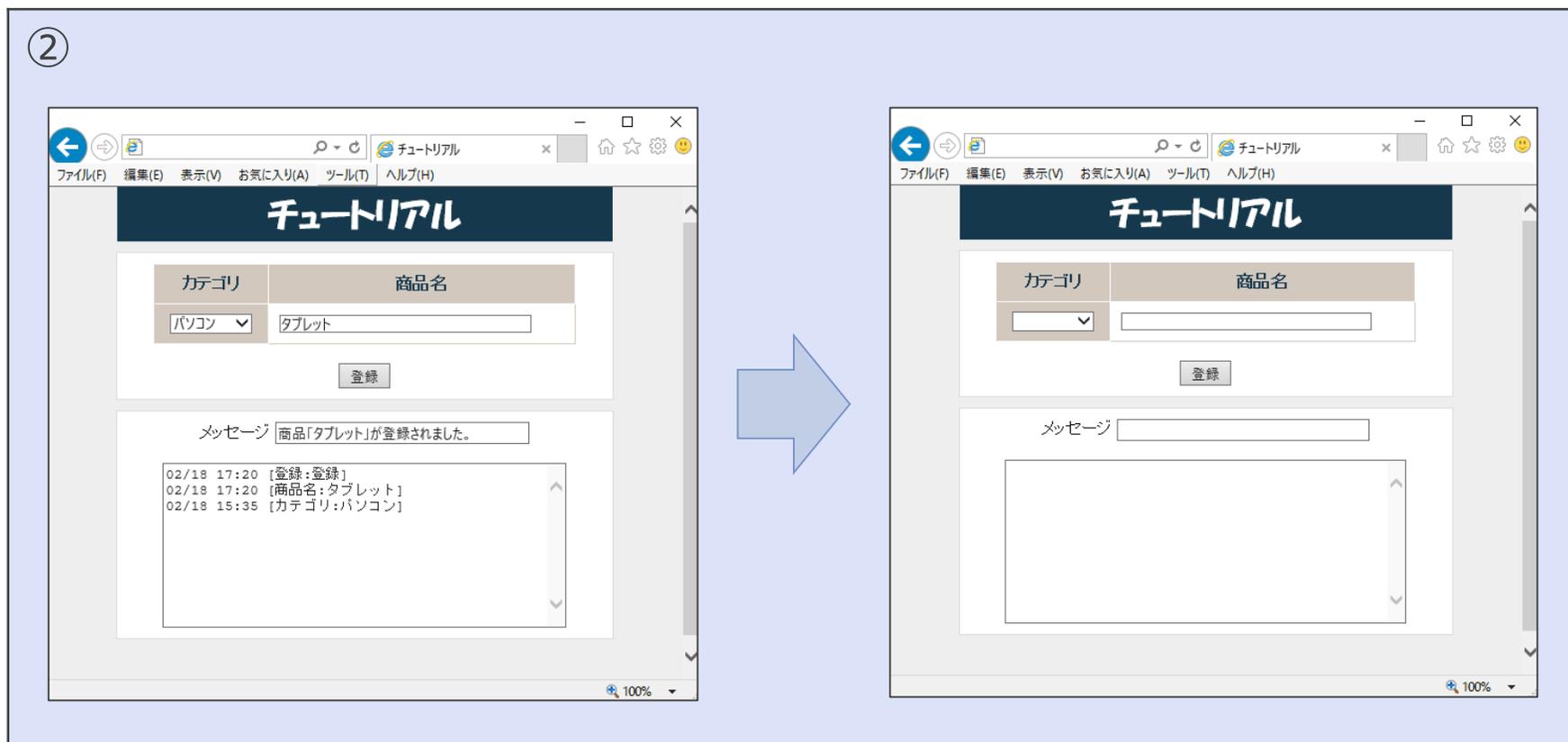
●次の手順でシナリオの実行準備をします。

- ①「グループ」を「シナリオ」の【開始】と【終了】の間の黄色の領域へドラッグ＆ドロップします。「グループ」のタイトルバー上にマウスを合わせ、マウスポインタが十字形に変わったらドラッグ＆ドロップします。操作のポイントは、マウスポインタを黄色の領域へ合わせドロップすることです。



2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でシナリオの実行準備をします。
 - ②「チュートリアル」画面上で「F5」キーを押します。
(もしくは、右クリックメニューの「最新の情報に更新」を選択します。)



2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で記録した自動操作シナリオを実行します。

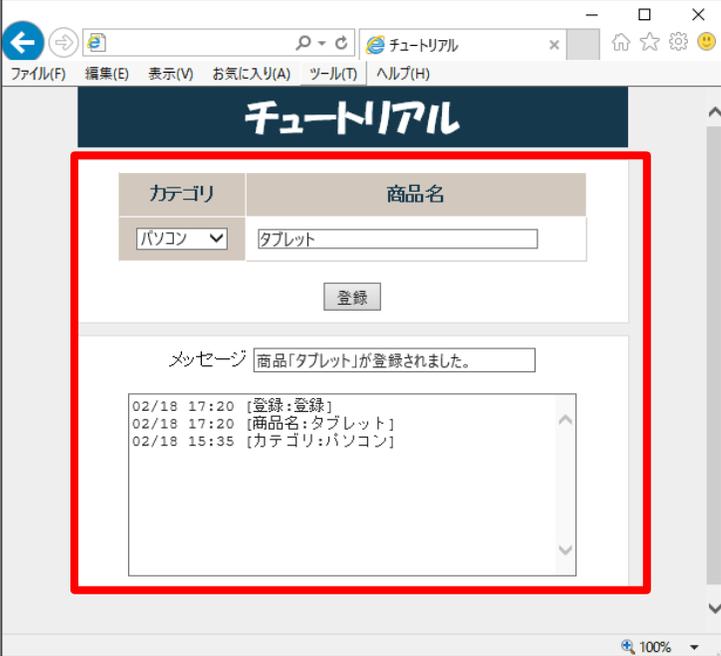
- ③「メイン」画面の「実行」ボタンをクリックします。
- ④記録時に行った操作と同じ操作が実行されます。

③



The screenshot shows the WinActor software interface. The title bar reads '* 新しいファイル [編集] - WinActor'. Below the title bar are menu items: 'ファイル', '表示', '設定', 'ツール'. The main area is divided into two sections: '実行' (Execute) and '編集/記録' (Edit/Record). In the '実行' section, a blue play button icon is highlighted with a red box. To its right are a grey stop button, a dropdown menu set to '全体', and a '+0' counter. In the '編集/記録' section, there is a red record button and a blue play button. At the bottom, a status bar displays '記録を停止しました。' (Recording stopped).

④

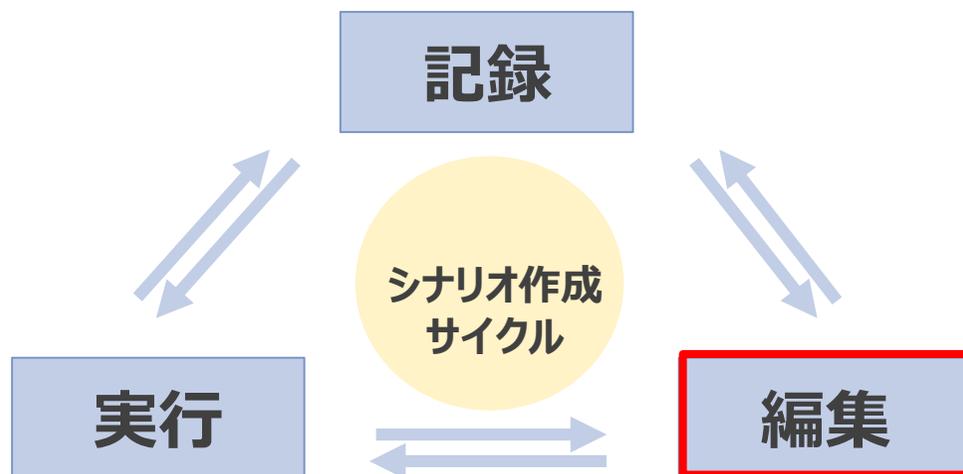


The screenshot shows a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). The browser's address bar shows 'チュートリアル'. The page content includes a form with two fields: 'カテゴリ' (Category) with a dropdown menu set to 'パソコン' (PC), and '商品名' (Product Name) with a text input field containing 'タブレット' (Tablet). Below the form is a '登録' (Register) button, which is highlighted with a red box. Underneath the form is a 'メッセージ' (Message) section with a text box containing '商品「タブレット」が登録されました。' (Product 'Tablet' has been registered). Below the message is a log area showing the following entries:
02/18 17:20 [登録:登録]
02/18 17:20 [商品名:タブレット]
02/18 15:35 [カテゴリ:パソコン]

2. 自動記録機能(IEモード)

記録したシナリオの編集方法

WinActorに備わる3つの機能

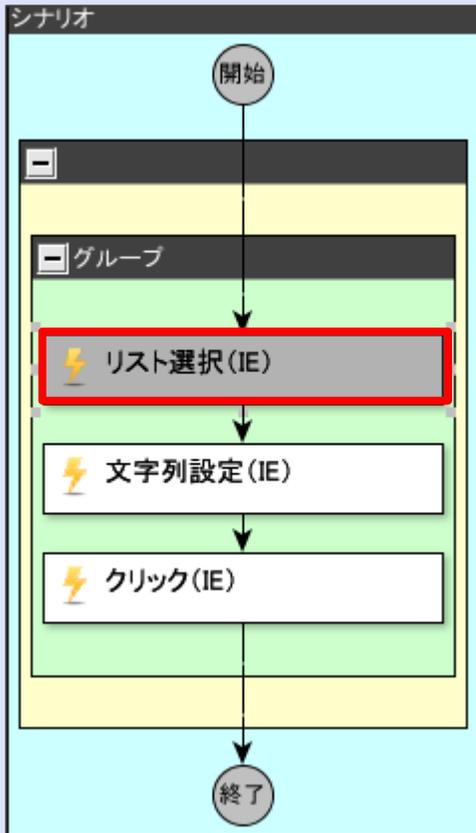


2.自動記録機能(IEモード)

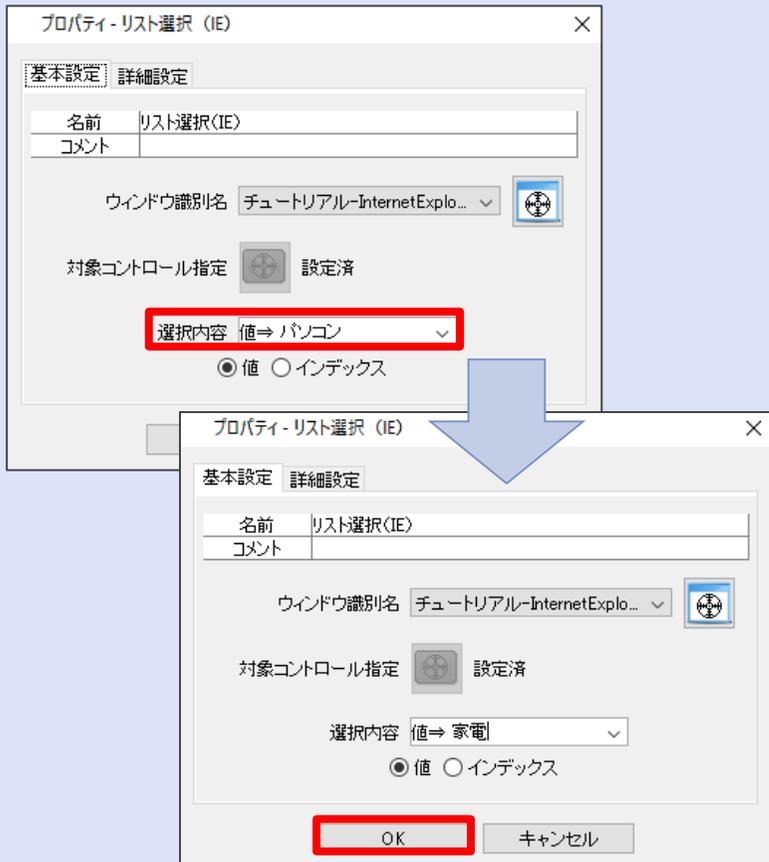
●次の手順でシナリオ編集を行います。

- ①「シナリオ」の「リスト選択 (IE)」を選択しダブルクリックをします。
- ②「プロパティ」画面上の「選択内容」を「値⇒パソコン」から「値⇒家電」へ書き換えます。

①



②



プロパティ-リスト選択 (IE)

基本設定 詳細設定

名前	リスト選択(IE)
コメント	

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo... 

対象コントロール指定  設定済

選択内容 値⇒パソコン 

値 インデックス

プロパティ-リスト選択 (IE)

基本設定 詳細設定

名前	リスト選択(IE)
コメント	

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo... 

対象コントロール指定  設定済

選択内容 値⇒家電 

値 インデックス

OK キャンセル

2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で編集したシナリオを実行します。

③「メイン」画面の実行ボタンをクリックします。

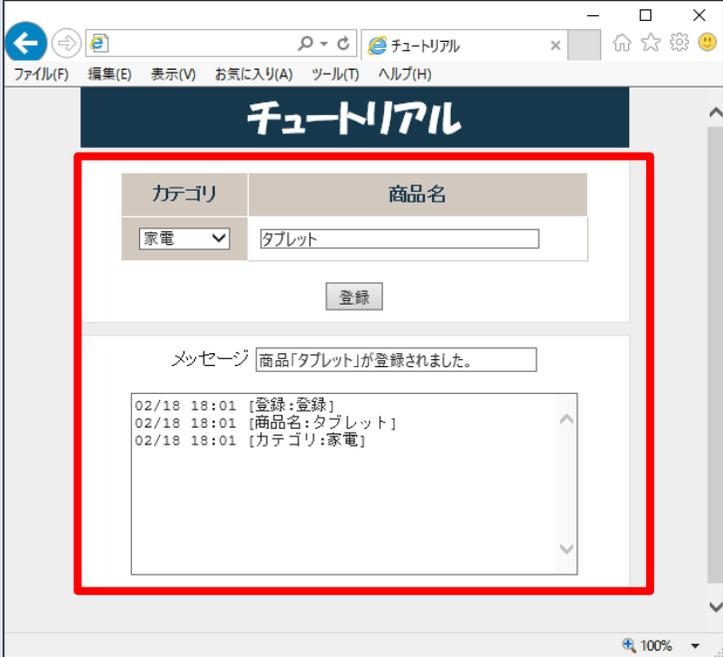
④編集した通り「カテゴリ：家電」が選択されます。

このように「シナリオ」を編集するには対象のノードの「プロパティ」画面を編集します。

③



④



The screenshot for step 4 shows a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). The browser address bar shows 'チュートリアル'. The page content includes a form with the following fields:

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

Below the form is a '登録' (Register) button. A message box displays: 'メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。' (Message: Product 'Tablet' has been registered.) Below the message box is a log showing the registration details:

```
02/18 18:01 [登録:登録]
02/18 18:01 [商品名:タブレット]
02/18 18:01 [カテゴリ:家電]
```

3. 自動記録機能 (エミュレーションモード)

- 4つのインターフェースのうち「座標指定型」に分類されます。
- ユーザーが行った操作を自動記録します。
- マウス・キーボード操作を記録する機能です。

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、エミュレーションモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。
キーボードショートカットキーでIE画面を初期化する操作を自動記録でシナリオ化します。

The screenshot displays the WinActor interface with a scenario editor. The scenario flow is as follows:

- 開始 (Start)
- グループ (Group)
- リスト選択 (IE) (List Selection)
- 文字列設定 (IE) (Text Setting)
- クリック (IE) (Click)
- 終了 (End)

The preview window shows the 'チュートリアル' (Tutorial) page with the following details:

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

メッセージ: 商品「タブレット」が登録されました。

Log entries:

- 07/15 16:50 [登録:登録]
- 07/15 16:50 [カテゴリ:家電]
- 07/15 16:49 [登録:登録]
- 07/15 16:49 [登録:登録]
- 07/15 16:49 [商品名:タブレット]
- 07/15 16:49 [カテゴリ:パソコン]

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ①「メイン」画面の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③「チュートリアル」画面をクリックします。
- ④「記録」ボタンが赤色に変わり、記録開始の準備が完了します。



The figure consists of four numbered screenshots illustrating the steps to start recording in WinActor:

- ①** Screenshot of the WinActor main interface. The '編集/記録' (Edit/Record) section has a button with a crosshair icon highlighted by a red box.
- ②** Screenshot of the WinActor main interface. The mouse cursor is now a crosshair, and the '編集/記録' button is highlighted by a red box.
- ③** Screenshot of a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). The browser's address bar and the 'チュートリアル' title are highlighted by a yellow box, and the crosshair cursor is highlighted by a red box.
- ④** Screenshot of the WinActor main interface. The '実行' (Execute) button is now red, and the '編集/記録' button is highlighted by a red box. A taskbar notification for 'IE:チュートリアル - Internet Explorer' is visible at the bottom.

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順で記録モードをエミュレーションに変更し記録を開始します。

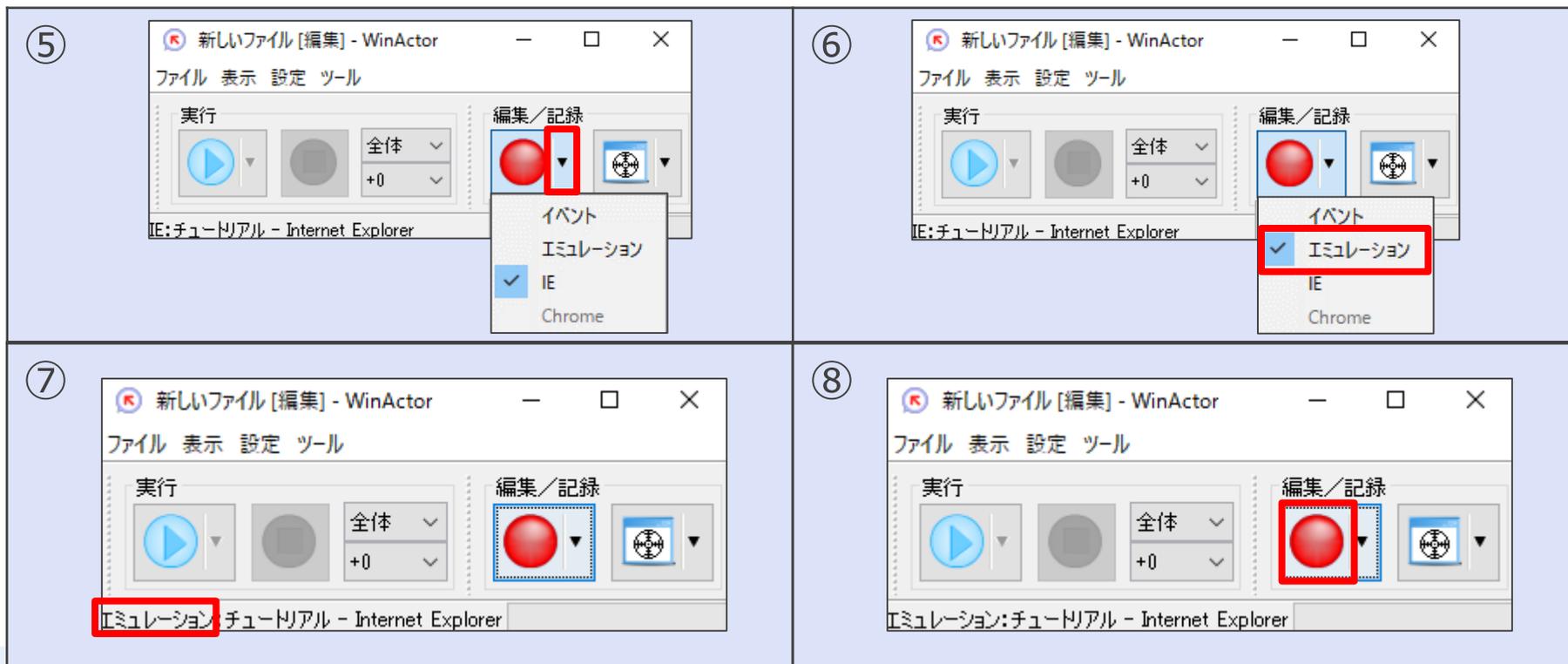
⑤「記録」ボタンの右にある▼をクリックしてプルダウンリストを表示します。

⑥プルダウンリストから「エミュレーション」を選択します。

⑦「メイン」画面左下のステータスバーに「エミュレーション」と表示されていることを確認します。

※再度「記録」ボタンのプルダウンリストを表示すると「エミュレーション」にチェックマーク表示されます。

⑧「メイン」画面の「記録」ボタンをクリックします。



3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●エミュレーションの記録を開始すると、記録操作画面が表示されます。記録対象の「チュートリアル」画面は緑色の枠が表示されます。

⑨「操作中の待機時間も記録する」からチェックを外します。

⑨

The image shows a browser window with a page titled "チュートリアル" (Tutorial). The page has a search bar with "カテゴリ" (Category) and "商品名" (Product Name) fields, a "登録" (Register) button, and a "メッセージ" (Message) input field. A green border highlights the browser window.

The "記録操作" (Recording Operation) dialog box is open, showing settings for recording mouse and keyboard events. The "操作中の待機時間も記録する" (Record waiting time during operation) checkbox is checked and highlighted with a red box. Other options include "ドラッグ中の軌跡も記録する" (Record trajectory during drag) and "左右キーを区別して記録する" (Record left and right keys separately). The dialog also has buttons for "選択部アクション化" (Actionize selection area), "操作の削除" (Delete operation), and "アクション化後停止" (Stop after actionization).

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でチュートリアル画面のキーボード操作を記録します。

⑩「チュートリアルの文字上」でクリックします。

⑪「F5」キーを押下

The image shows two side-by-side screenshots illustrating the recording process. The left screenshot, labeled ⑩, shows a web browser window with a page titled 'チュートリアル' (Tutorial). A red box highlights a mouse cursor clicking on the text 'チュートリアル' in the header. The right screenshot, labeled ⑪, shows the '記録操作' (Record Operation) dialog box. It has sections for 'マウスカーソルのイベント' (Mouse cursor events) and 'キーボードのイベント' (Keyboard events). The 'マウスカーソルのイベント' section has '原点' (Origin) set to '左上' (Top-left), 'X方向' (X direction) set to '座標' (Coordinates), and 'Y方向' (Y direction) set to '座標' (Coordinates). There are checkboxes for 'ドラッグ中の軌跡も記録する' (Record trajectory during drag) and '操作中の待機時間も記録する' (Record waiting time during operation), both of which are unchecked. The 'キーボードのイベント' section has a checkbox for '左右キーを区別して記録する' (Record left and right keys separately), which is also unchecked. Below these sections is a '操作記録リスト' (Operation recording list) containing the following entries: 'マウス[左ボタン]をDown: 左上(212,17)', 'マウス[左ボタン]をUp: 左上(212,17)', 'キーボード[F5]をDown', and 'キーボード[F5]をUp'. At the bottom of the dialog are buttons for '選択部アクション化' (Actionize selection area), '操作の削除' (Delete operation), and 'アクション化後停止' (Stop after actionization).

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でエミュレーションアクションを「シナリオ」に配置します。

⑫「記録操作」画面の「アクション化後停止」ボタンをクリックします。

⑬入力したキーボード操作が「フローチャート」画面に記録されます。

The image shows two screenshots from a software application. The left screenshot, labeled ⑫, shows a dialog box titled '記録操作' (Recording Operation). It has sections for 'マウスカーソルのイベント' (Mouse cursor events) and 'キーボードのイベント' (Keyboard events). Under 'マウスカーソルのイベント', there are dropdowns for '原点' (Origin) set to '左上' (Top-left), 'X方向' (X direction) set to '座標' (Coordinates), and 'Y方向' (Y direction) set to '座標' (Coordinates). There are two checkboxes: 'ドラッグ中の軌跡も記録する' (Record trajectory during drag) and '操作中の待機時間も記録する' (Record waiting time during operation), both of which are unchecked. Under 'キーボードのイベント', there is a checkbox '左右キーを区別して記録する' (Record left and right keys separately), which is also unchecked. A '操作記録リスト' (Operation recording list) contains the following entries: 'マウス[左ボタン]をDown:左上(212,17)', 'マウス[左ボタン]をUp:左上(212,17)', 'キーボード[F5]をDown', and 'キーボード[F5]をUp'. At the bottom of the dialog are buttons for '選択部アクション化' (Actionize selected part), '操作の削除' (Delete operation), and 'アクション化後停止' (Stop after actionization), with the latter button highlighted by a red box.

The right screenshot, labeled ⑬, shows the 'フローチャート' (Flowchart) editor. The main canvas displays a flowchart with a 'シナリオ' (Scenario) section. The flow starts with a '開始' (Start) node, followed by a 'グループ' (Group) box containing three actions: 'リスト選択 (IE)', '文字列設定 (IE)', and 'クリック (IE)'. Below this group is another 'グループ' box containing an 'エミュレーション' (Emulation) action, which is highlighted with a red box. The flowchart ends with a '終了' (End) node. The left sidebar shows a tree view of the flowchart elements, including 'ノード' (Node), 'フロー' (Flow), 'アクション' (Action), and 'ユーザ' (User).

3. 自動記録機能(エミュレーションモード)

● 次の手順でシナリオ実行の準備をします。

⑭ 「エミュレーション」の入った「グループ」を「IEモード」で作成した「シナリオ」の上にドラッグ&ドロップします。

⑭

The image displays a software interface for creating a flowchart. On the left, a 'Node' library lists various actions such as 'グループ' (Group), '分岐' (Branch), and 'エミュレーション' (Emulation). A red arrow points from the 'エミュレーション' node in the library to a 'グループ' box in the main flowchart. The main flowchart shows a sequence of steps: '開始' (Start), 'グループ' (Group), 'リスト選択 (IE)' (List Selection (IE)), '文字列設定 (IE)' (String Setting (IE)), 'クリック (IE)' (Click (IE)), and '終了' (End). A second 'グループ' box containing 'エミュレーション' is shown being dragged into the main flowchart. A large blue arrow points from the left view to the right view, which shows the final state where the 'エミュレーション' group is integrated into the scenario flowchart.

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でシナリオを実行します。

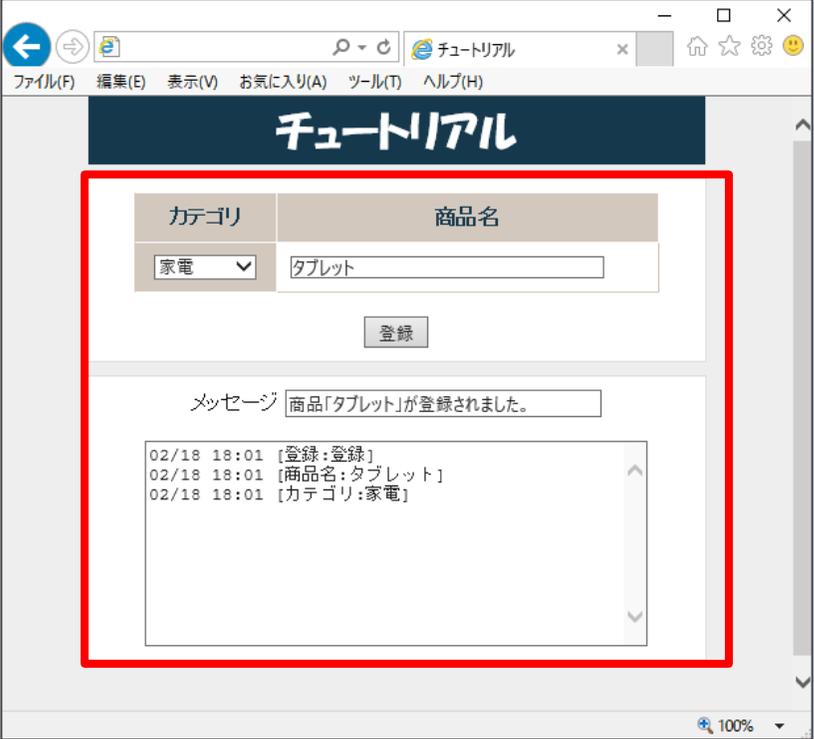
⑮「メイン」画面の「実行」ボタンをクリックします。

⑯キーボード操作を再現することによって、「チュートリアル」画面で初期化が行われた後、登録作業が行われます。

⑮



⑯



チュートリアル

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

登録

メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。

```
02/18 18:01 [登録:登録]
02/18 18:01 [商品名:タブレット]
02/18 18:01 [カテゴリ:家電]
```

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 4つのインターフェースのうち「画像識別型」に分類されます。
- 指定した画像を処理対象のウィンドウから検索し自動処理を行う機能です。
- 指定した画像と同じ形状のアイコンをクリックしたり、入力欄にカーソルを移動することができます。

4.画像識別機能(画像マッチング)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、画像マッチングでIE画面を操作するシナリオを作成します。
「登録」ボタンをクリックする操作をシナリオ化します。

The screenshot displays the WinActor interface. On the left, a tree view shows various actions like 'グループ' (Group), 'エミュレーション' (Emulation), and 'クリック (IE)' (Click IE). The main workspace shows a scenario flow starting with '開始' (Start), followed by a 'グループ' (Group) containing 'エミュレーション' (Emulation), another 'グループ' (Group) containing 'リスト選択 (IE)' (List Selection IE), '文字列設定 (IE)' (Text Setting IE), and 'クリック (IE)' (Click IE), and finally '終了' (End). On the right, a browser window shows the 'チュートリアル' (Tutorial) page with a form for 'カテゴリ' (Category) set to '家電' (Home Appliances) and '商品名' (Product Name) set to 'タブレット' (Tablet). A '登録' (Register) button is visible. Below the form, a message box says '商品「タブレット」が登録されました。' (Product 'Tablet' has been registered). A log window shows the following messages:

```
07/15 16:52 [登録:登録]
07/15 16:52 [商品名:タブレット]
07/15 16:52 [カテゴリ:家電]
```

4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でノード「画像マッチング」を配置します。

- ①「シナリオ」内の「クリック (IE) 」を「シナリオ」の枠外に出します。
- ②「ノード」パレット>「アクション」フォルダ> 「画像マッチング」を「文字列設定 (IE) 」の下の領域にドッグ&ドロップします。

The image consists of two side-by-side screenshots of a flowchart editor interface, labeled ① and ②.

Screenshot ①: Shows the initial state. The left sidebar contains a tree view of nodes, with 'アクション' (Action) expanded. The main canvas shows a flowchart with nodes: '開始' (Start), 'グループ' (Group), 'エミュレーション' (Emulation), 'グループ' (Group), 'リスト選択 (IE)' (List Selection (IE)), '文字列設定 (IE)' (Text Setting (IE)), and '終了' (End). A red box highlights the 'クリック (IE)' (Click (IE)) node in the 'アクション' folder. A red arrow points from this node towards the right.

Screenshot ②: Shows the 'クリック (IE)' node moved out of the main canvas area. A red box highlights the '画像マッチング' (Image Matching) node in the 'アクション' folder. A red arrow points from this node to the space below the '文字列設定 (IE)' node in the main canvas. The flowchart in the main canvas now includes the '画像マッチング' node below '文字列設定 (IE)'. The 'クリック (IE)' node is now shown as a separate element to the right of the main canvas.

4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順で「画像マッチング」の「プロパティ」画面を開きます。

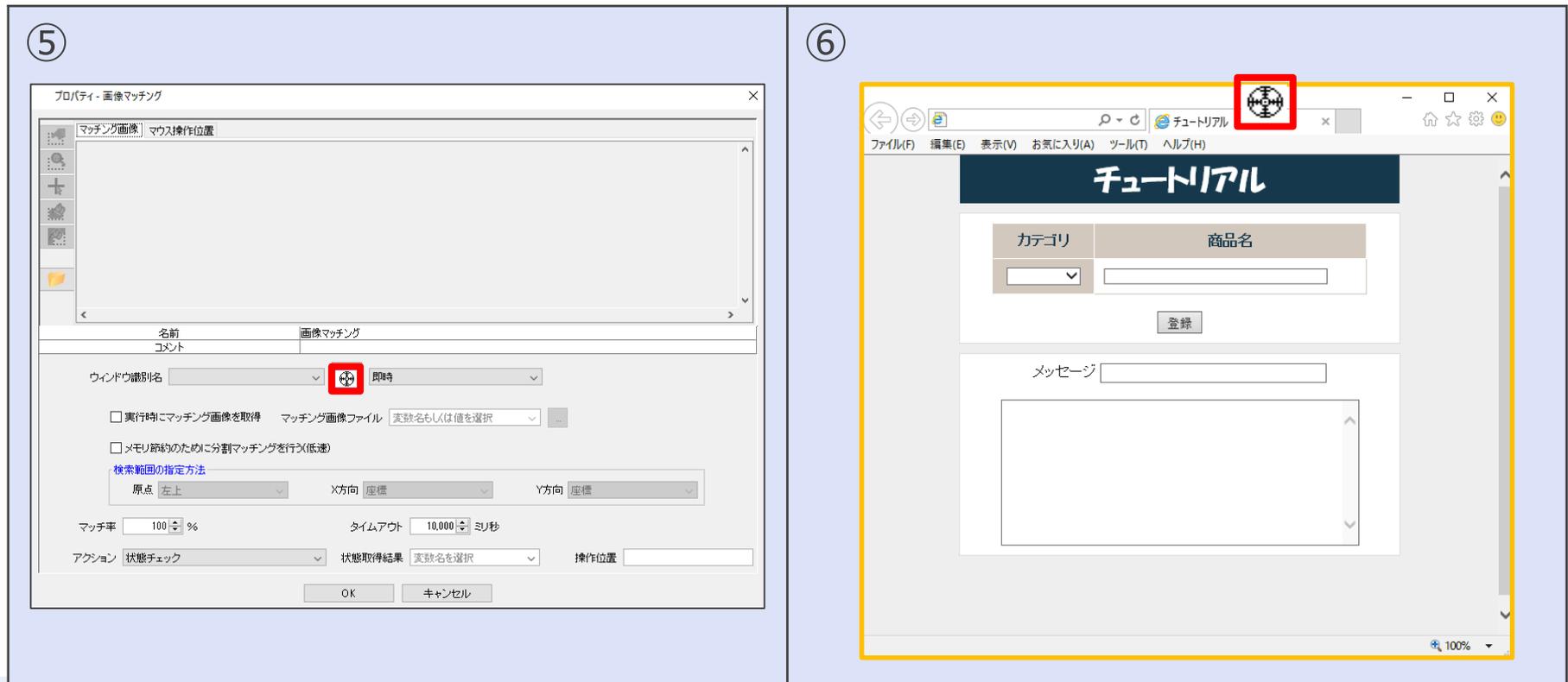
③「シナリオ」内の「画像マッチング」をダブルクリックします。

④「画像マッチング」の「プロパティ」画面が表示されます。

The image shows two screenshots from a software application. The left screenshot, labeled with a circled '3', displays a 'シナリオ' (Scenario) editor. On the left is a tree view of nodes, and on the right is a flowchart. The flowchart starts with '開始' (Start), goes through a 'グループ' (Group) containing 'エミュレーション' (Emulation), another 'グループ' containing 'リスト選択 (IE)' (List Selection) and '文字列設定 (IE)' (String Setting), and finally reaches '画像マッチング' (Image Matching), which is highlighted with a red rectangle. The right screenshot, labeled with a circled '4', shows the 'プロパティ・画像マッチング' (Property - Image Matching) dialog box. It has a 'マッチング画像' (Matching Image) field with a mouse cursor icon. Below are settings for '名前' (Name) and 'コメント' (Comment), a 'ウィンドウ識別名' (Window Identification Name) dropdown set to '即時' (Immediate), and checkboxes for '実行時にマッチング画像を取得' (Get matching image at execution) and 'メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)' (Perform split matching to save memory (low speed)). There are also dropdowns for '検索範囲の指定方法' (Search range specification method) with options for '原点' (Origin) and 'X方向' (X-axis) and 'Y方向' (Y-axis). At the bottom, there are fields for 'マッチ率' (Match rate) set to 100%, 'タイムアウト' (Timeout) set to 10,000 milliseconds, and an 'アクション' (Action) dropdown set to '状態チェック' (Status check). 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom.

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 次の手順で「画像マッチング」を行う画面を指定します。
 - ⑤「プロパティ」画面の「ターゲット選択」ボタンをクリックします。
この操作によりマウスカーソルの形状が「」に変化します。
 - ⑥「チュートリアル」画面のタイトルバーをクリックします。
※この操作によりマウスカーソルの形状が元に戻ります。

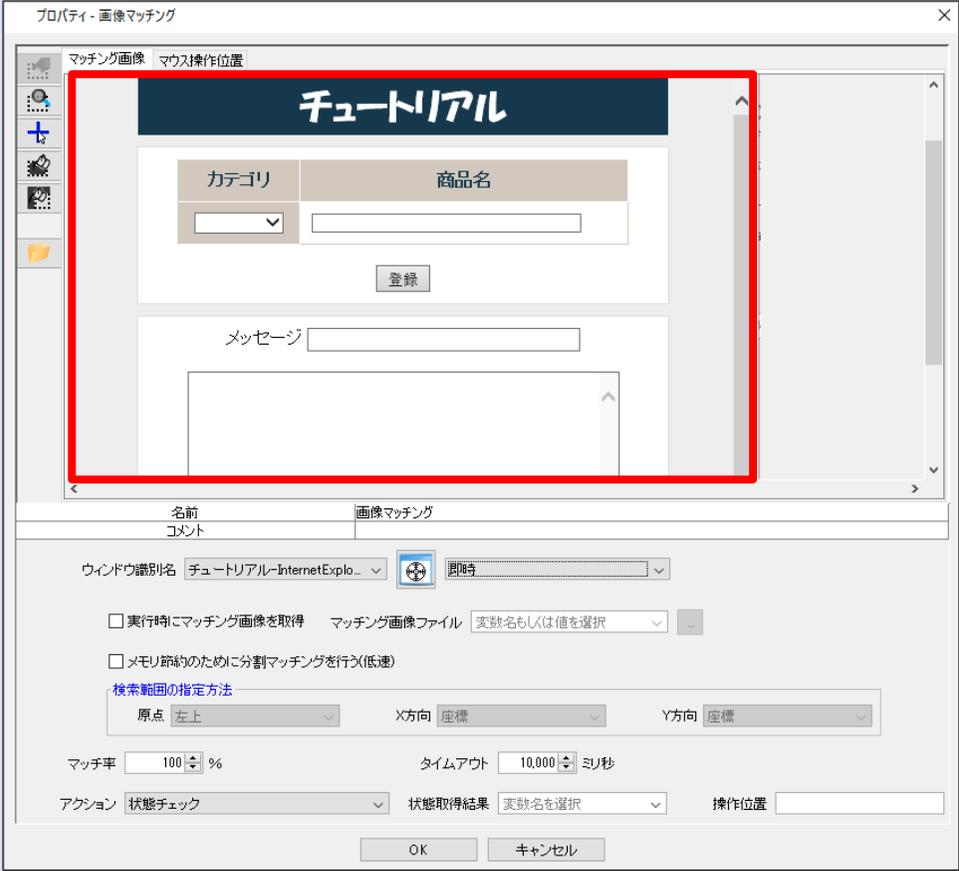


4.画像識別機能(画像マッチング)

●画面キャプチャを確認します。

- ⑦「プロパティ」画面に「チュートリアル」画面のキャプチャ画像が表示されていることを確認してください。

⑦



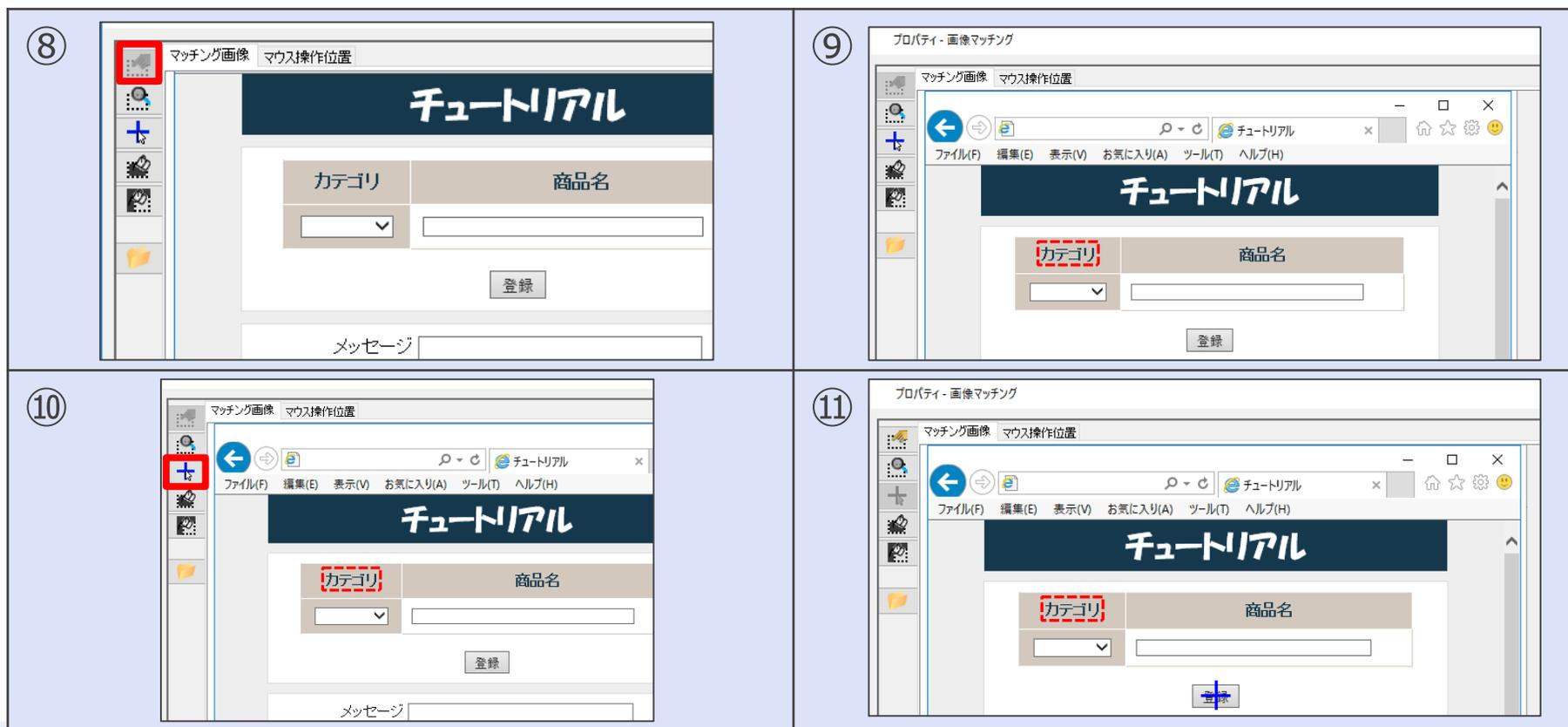
The screenshot shows the 'プロパティ - 画像マッチング' (Property - Image Matching) dialog box. The main content area displays a preview of a 'チュートリアル' (Tutorial) page. A red box highlights the content area of the preview, which includes a header 'チュートリアル', a form with 'カテゴリ' (Category) and '商品名' (Product Name) fields, a '登録' (Register) button, and a 'メッセージ' (Message) field. Below the preview, there are several settings for image matching:

- 名前: チュートリアル
- コメント:
- ウィンドウ識別名: チュートリアル-InternetExplo... (with a globe icon)
- 実行時にマッチング画像を取得: (Matching image file: 変数名もしくは値を選択)
- メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速):
- 検索範囲の指定方法: 原点 (左上), X方向 (座標), Y方向 (座標)
- マッチ率: 100 %
- タイムアウト: 10,000 ミリ秒
- アクション: 状態チェック (State acquisition result: 変数名を選択)
- 操作位置:

Buttons: OK, キャンセル

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 「プロパティ」画面でクリックする箇所を指定します。
 - ⑧「マッチング画像」ボタンをクリックします。(デフォルトで選択されています。)
 - ⑨画面キャプチャした画像の中からマッチングを行う画像の範囲を指定します。
 - ⑩「マウス操作位置」ボタンをクリックします。
 - ⑪画面キャプチャした画像の中の「登録」ボタンの上でクリックします。



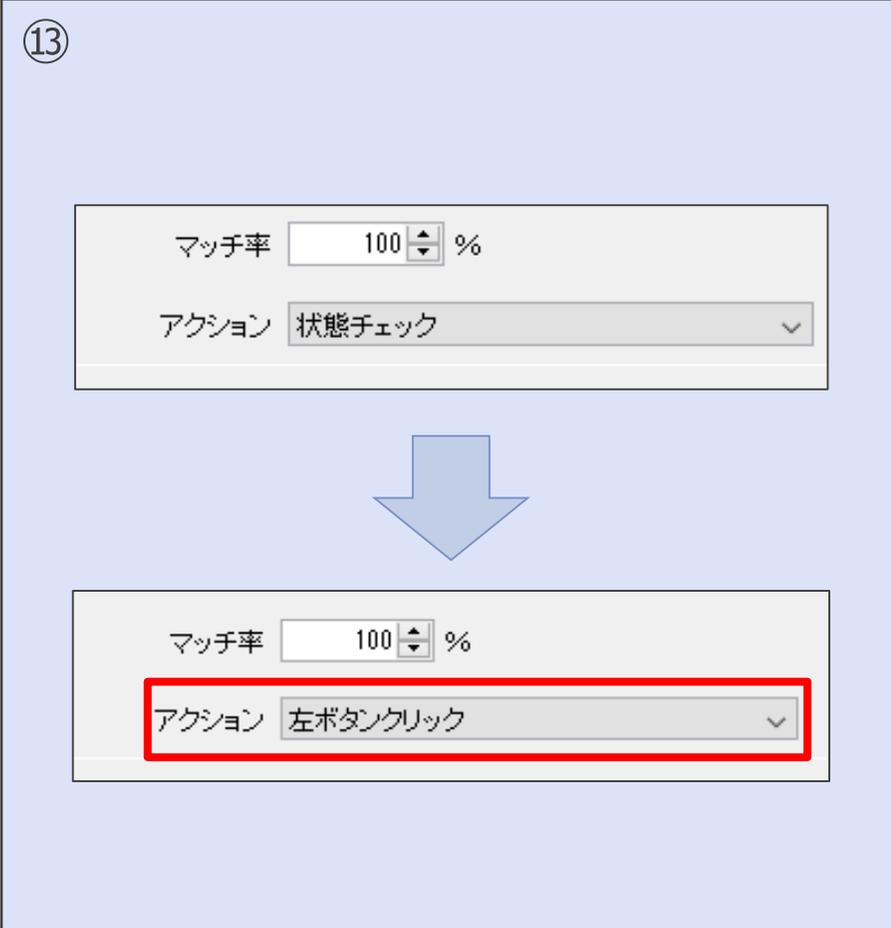
4.画像識別機能(画像マッチング)

●「プロパティ」画面で範囲指定した画像の場所をクリックする設定を行います。

⑬ 「アクション」から「左ボタンクリック」を選択します。

⑭ 「OK」ボタンをクリックします。

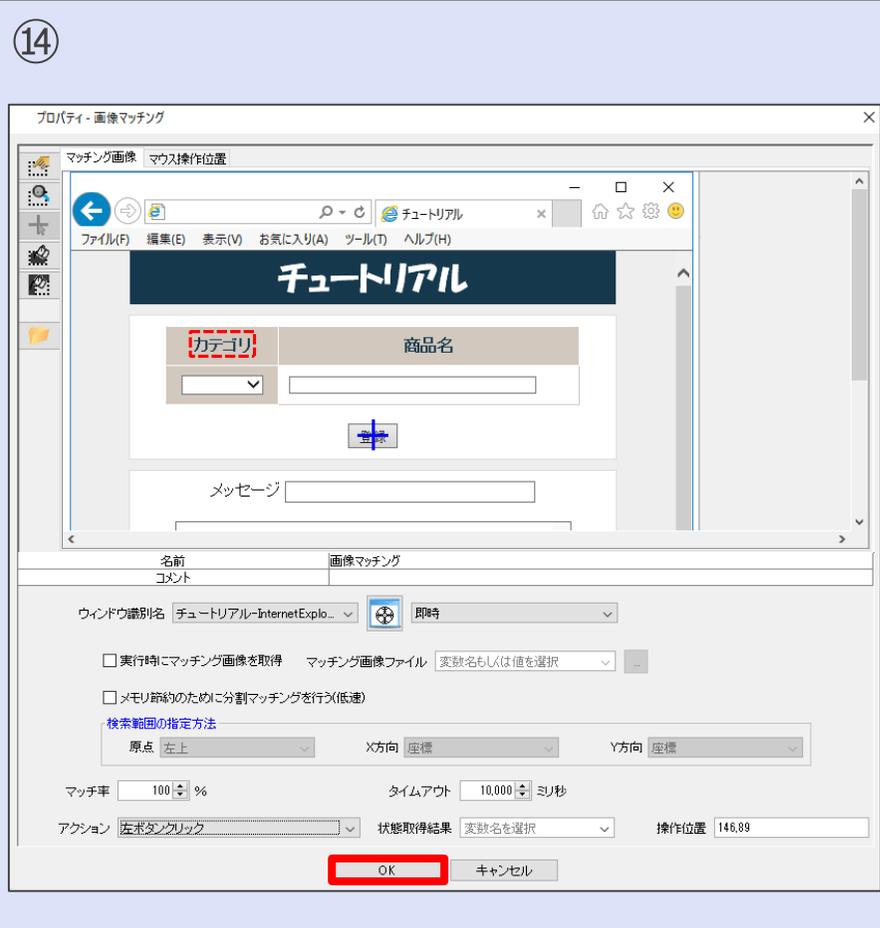
⑬



マッチ率 100 %

アクション 状態チェック

⑭



プロパティ - 画像マッチング

マッチング画像 マウス操作位置

チュートリアル

カテゴリ 商品名

メッセージ

名前 コメント

ウインドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo... 即時

実行時にマッチング画像を取得 マッチング画像ファイル 変数名もしくは値を選択

メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

検索範囲の指定方法

原点 左上 X方向 座標 Y方向 座標

マッチ率 100 % タイムアウト 10,000 ミリ秒

アクション 左ボタンクリック 状態取得結果 変数名を選択 操作位置 146.89

OK キャンセル

4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でシナリオを実行します。

⑮「メイン」画面の「実行ボタン」をクリックします。

⑯「登録ボタン」がクリックされ、「登録結果」が記録されます。

⑮



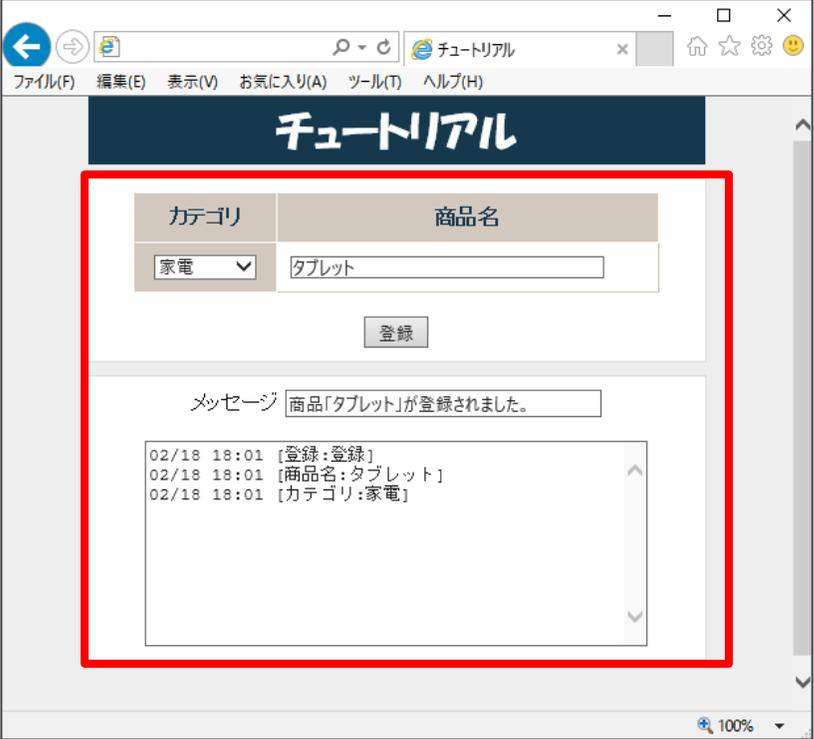
*新しいファイル [編集] - WinActor
ファイル 表示 設定 ツール

実行

編集/記録

記録を停止しました。

⑯



チュートリアル

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

登録

メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。

```
02/18 18:01 [登録:登録]
02/18 18:01 [商品名:タブレット]
02/18 18:01 [カテゴリ:家電]
```

5. WinActor実践ガイドの ご紹介

5.WinActor実践ガイドのご紹介



本書のポイント

学びやすいサンプル付属でらくらくマスター
受発注Webシステムを例に、使いこなし方を解説
v6の目玉機能も詳しく解説しているから安心

価格

本体 **¥1,850** +税

お求めは全国書店
ネットショップ等で!



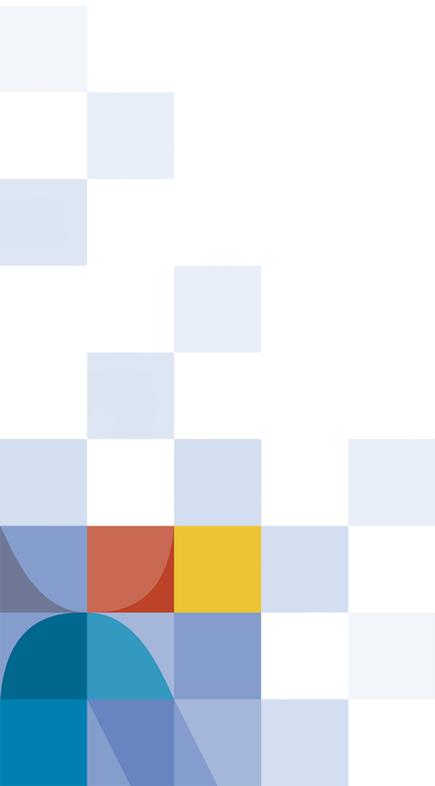
<https://www.amazon.co.jp/dp/4295007536>

Amazonでのご購入はこちらからどうぞ!

絶 賛 発 売 中 !

日常業務をRPAで楽しく自動化 WinActor® 実践ガイド WinActor v6対応

- WinActorで業務を自動化する方法について「Webベースの受発注システム」を例に操作と使いこなしのポイントを解説
- エラー処理や変数、文字列操作といった作業に役立つライブラリを数多く紹介
- 専用のサンプルHTMLが用意されていますので、繰り返し試しながらシナリオ作成を学ぶことができます
- WinActor v6.1の目玉機能であるメール受信機能やGoogle Chromeでのデータの取得方法も詳しく解説
- WinActorのシナリオを手直したり、再編集したりして業務を自動化したい方やシナリオ作成に利用するライブラリを手早く参照したい方におすすめです



NTT DATA

Trusted Global Innovator